

■ポスターセッション

ポスターセッションは40件の発表があり、8月27日(木) 13:00～14:00のコアタイムを中心として活発な討論が行われた。発表では、大島土砂災害、御嶽山噴火、ネパール・ゴルカ地震など最近発生した災害に対する調査・研究結果、融雪・地震などの誘因で発生する地すべりの特徴や機構、大規模地すべりに伴って現れる地形に関する研究のほか、衛星画像、3Dプリンターなど最新技術の応用例など、地すべりに関する多岐にわたる発表があった。また、10名の学生会員の発表も含め、コアタイムには活発な質疑応答がなされ、会場は大変盛況であった。

若手研究者の発表奨励策の一環として実施している若手ポスター賞は、実行委員長により選任された6名の審査員により審査され、1次評価でポスターの出来栄え、2次審査でコアタイム発表時の態度を審査した。ポスターデザイン、発表の仕方、研究の内容について5段階で評価が行われ、該当者(35歳以下)16名から、以下の方々の受賞が決定し、八木実行委員長から賞状と副賞が贈呈された。

若手ポスター賞受賞者

- ・最優秀賞：山崎晴香(信州大学・学生会員)
「膨潤性粘土鉱物を含む湿潤土試料の薄片作成法」
共同発表者 小林建夫・渡部直喜・梅崎健夫
- ・優秀賞：本明将来(群馬大学・学生会員)
「2013年伊豆大島台風災害における表層崩壊機構に関する実験的検討」
共同発表者 横内啓隆・若井明彦・後藤聡
- ・優秀賞：Yao JIANG (Kyoto Univ.・学生会員)
「Correlations between frictional instability and acoustic emission of sheared granular materials」
共同発表者：Gonghui WANG・Toshitake KAMAI
- ・優秀賞：阪本さよ(京都大学大学院・学生会員)
「水槽実験による天然ダムの破壊機構についての基礎的研究」
共同発表者：古谷元・王功輝

ポスター発表の発表者および発表演題は以下のとおりである。

番号	題名	発表者	所属
1	平成27年4月に新潟県上越地方で発生した地すべり	石田孝司	土木研究所雪崩・地すべり研究セ
2	伊豆大島土砂災害の発端となった源頭部斜面の浸透流解析	横内啓隆	群馬大学
3	御嶽山噴火後の早期の濁沢における流送土砂と水位の測定	浅野志穂	森林総合研究所
4	過去45年間における金山沢源頭部の地すべり斜面の地形変化	西井稜子	土木研究所
5	花崗岩分布域における表層崩壊発生機構に関する一考察	杉崎友晃	日本工営(株)
6	Assessment of debris flow hazards triggered by a heavy rainfall event in July, 2013 in Tsuwano, Shimane	Fawu Wang	Shimane Univ.
7	奄美大島の崩壊性地すべりの発生と先行雨量	上原弓奈	琉球大学
8	赤城山南麓における歴史地震の痕跡に関する力学的考察	笛木久美	群馬大学
9	道路盛土斜面における最大加速度と設計水平震度の関係に関する検討～スラブ内地震を例として～	一井康二	広島大学
10	地震地すべりの広域危険度評価に関する試行検討	太田敬一	日本工営(株)
11	東北地方太平洋沖地震による斜面崩壊の発生場の特徴	千葉則行	東北工業大学
12	地震により火山灰被覆丘陵で発生する崩壊性地すべり発生斜面の水文地質的特徴	宮本賢人	土木研究所 (現ライト工業(株))
13	Newmark法の型式が残留変形量の算定結果に及ぼす影響	吉川登代子	大阪大学
14	鳴瀬川堤防沿いにおける常時微動計測および臨時地震観測	秦吉弥	大阪大学
15	ALOS-2/PALSAR-2データを用いた2015年ネパール地震による地すべり性地表変動の研究	佐藤浩	日本大学
16	ネパール・ゴルカ地震におけるランタン谷の斜面崩壊事例の検討	亀山ひろみ	群馬大学
17	山間道路における道路亀裂の形状と成因	西川優美	奥山ボーリング(株)
18	旧版地形図の土地利用・地名と地すべり分布から観察した集落の変遷～高知県本川・大川地区を例として～	岩橋純子	国土地理院
19	二重山稜に見られる逆向き小屋地形の分布密度と山体釣鐘形状度の比較	林一成	奥山ボーリング(株)
20	地質・遷急線に着目した判読が難しい地すべり地形の特徴	武田大典	土木研究所
21	長崎県佐世保市に位置する史跡・福井洞窟を埋積した地すべり堆積物の特徴	西山賢一	徳島大学
22	三波川変成コンプレックスの泥質片岩に発達する重力性傾動構造の構造規制～高知県の町葛地域の例～	石橋愛香	高知大学大学院
23	孔内傾斜計の計測結果に基づく地すべり土塊の変形過程の推定	森永高行	日本基礎技術(株)(元土木研究所)
24	Correlations between frictional instability and acoustic emission of sheared granular materials	Yao JIANG	Kyoto Univ.
25	すべり面強度の不均一性が斜面の安定性に与える影響に関する検討	小笠原啓介	土木研究所(現奈良県)
26	2012年融雪により発生した国川地すべりの数値解析的の検討	王純祥	新潟大学

番号	題名	発表者	所属
27	DEM 解析を用いた流入土砂によるため池堤体への影響に関する検討	正田大輔	農研機構
28	水槽実験による天然ダムの破壊機構についての基礎的研究	阪本さよ	京都大学大学院
29	2013年伊豆大島台風災害における表層崩壊機構に関する実験的検討	本明将来	群馬大学
30	2014/2015冬期の気象・積雪と融雪水の地中浸透	秋山一弥	前 土木研究所 (現 筑波大学)
31	融雪水の浸透が地すべり地の地下水流動層に与える影響	桂真也	土木研究所雪崩・地すべり研究センター
32	積雪期における地すべり地表層地盤の水分浸透特性	大澤光	京都大学防災研究所
33	粘性圧縮モデルを用いた地すべり地の融雪水量予測	岡本隆	森林総合研究所
34	膨潤性粘土鉱物を含む湿潤土試料の薄片作成法	山崎晴香	信州大学
35	地すべり災害警戒のための市町村単位指標の検討について	鳥海貴裕	土木研究所
36	地下水排除施設集水管の閉塞防止方法に関する検討	丸山清輝	土木研究所
37	3Dプリンター模型による地すべり対策への貢献	太田英将	(有)太田ジオリサーチ
38	御荷鈴帯地すべり地におけるコアの色彩と鉱物組成	磯野陽子	(株)エイト日本技術開発
39	御荷鈴帯地すべり地の水質特性	渡辺俊一	(株)エイト日本技術開発
40	御荷鈴帯地すべり地の風化帯分布と透水性特性	木村隆行	(株)エイト日本技術開発

■新技術紹介セッション

新技術紹介セッションでは、ブースを使った企業・団体による新技術の紹介および展示が23件あった。各種グラウンドアンカー工法をはじめとする地すべり対策技術、監視のための計測機器や、通信・伝達技術、解析・ソフト技術などの新技術の紹介があった。また、今回新しい試みとして、発表会場において、各紹介技術のプレゼンテーションを実施した。

01	Exelis VIS株式会社
02	株式会社 エスイー
03	フロテックアンカー技術研究会
04	五大開発株式会社
05	KJS協会・アンカー補修協会
06	北陽建設株式会社
07	NMアンカー協会
08	奥山ボーリング株式会社
09	アジア航測株式会社/株式会社タックエンジニアリング
10	坂田電機株式会社
11	株式会社 オサシ・テクノス
12	国土防災技術株式会社
13	株式会社 横山空間情報研究所
14	株式会社 新東京ジオ・システム
15	応用地質株式会社
16	新川電機株式会社
17	小断面トンネル排水工法研究会
18	サンスイ・ナビコ 株式会社
19	株式会社測商技研北陸
20	明治コンサルタント株式会社
21	KTB協会/PCフレーム協会
22	ジオファイバー協会連合会
23	古野電気株式会社